

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成30年度 技術情報第3号(早期水稲の斑点米カメムシ類)について (送付)

早期水稲の斑点米カメムシ類について、以下のとおり取りまとめましたので送付します。

平成30年度 技術情報第3号

- 1 対象病害虫 斑点米カメムシ類 (クモヘリカメムシ, ホソハリカメムシ, シラホシカメムシ, アカスジカスミカメ 等)
- 2 対象作物 早期水稲
- 3 予報内容
 - (1) 発生地域 早期水稲地帯 (県本土)
 - (2) 発生時期 出穂期以降
 - (3) 発生量 多
- 4 予報の根拠
 - (1) 早期水稲ほ場周辺の主にイタリアンライグラスが畦畔雑草化したイネ科雑草地等における斑点米カメムシ類の生息状況について、捕虫網によるすくい取り調査(捕虫網20回振り)を6月4～6日に行った結果は次のとおりであった。
 - ア カメムシ類の捕獲箇所率は94.6% (平年(過去5か年の平均, 以下同じ): 83.9%)と平年に比べ高く(第1表), 本年の特徴として捕獲虫の94.1%がアカスジカスミカメで, その平均捕獲虫数は37.4頭(平年:8.8頭)と平年の約4倍と多かった(第3表)。
なお, カメムシ類の種別構成比は, 高い方からアカスジカスミカメに次いでクモヘリカメムシ, ホソハリカメムシ, シラホシカメムシの順であった(第3表)。
 - イ 生息虫数が中程度以上であった捕獲箇所の割合は, 県全体で66%であった(第2表)。
- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 斑点米カメムシ類による斑点米の混入は米の検査等級格下げにつながり, 特に早期水稲では品質低下の主な要因となる。
 - (2) 水田周辺の雑草地などが飛来源となるので, 出穂の10日前頃までに畦畔の草払いなどは場管理に努める。
 - (3) 斑点米カメムシ類の薬剤防除については発生状況に応じた防除が必要となるが, 毎年斑点米被害が多い地域では, 穂揃期と穂揃期の7～10日後の2回防除が基本である。特に乳熟後期の幼虫の発生には十分注意し, 発生が多い場合は2回防除を行う。
 - (4) 防除は農薬の使用基準を遵守し, 時期を失しないように行う。
また, 薬剤が周辺環境などに飛散しないようにする。

(参考資料)

第1表 早期水稲周辺イネ科雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況 (2018.6.4~6 調査)

調査年	2013	2014	2015	2016	2017	本年	平年 ²⁾
調査箇所数	56	56	56	56	56	56	—
捕獲箇所率(%) ¹⁾	87.5	73.2	78.6	92.9	87.5	94.6	83.9

※ 1) 捕獲箇所率(%) = $\frac{\text{捕獲箇所数}}{\text{調査箇所数}} \times 100$ 2) 平年は過去5か年(2013~2017)の平均値。

第2表 早期水稲周辺イネ科雑草地における斑点米カメムシ類の地域別、程度別割合 (2018.6.4~6 調査)

地域	調査箇所数	捕獲箇所率(%)	程度別割合(%)				
			甚	多	中	少	無
南薩	28	89.3	28.6	21.4	7.1	32.1	10.7
大隅	28	100.0	0	21.4	53.6	25.0	0
県全体	56	94.6	14.3	21.4	30.4	28.6	5.4

※ 程度別基準 (捕虫網すくい取り20回振り虫数)

調査場所	甚	多	中	少	無
雑草地等	61頭以上	31~60頭	11~30頭	1~10頭	0

第3表 早期水稲周辺イネ科雑草地における斑点米カメムシ類の種類別、地域別捕獲状況 (2018.6.4~6 調査)

地域	調査箇所数	項目	クモハリ	ホソハリ	ミミアオ	シラホシ	イネ	アカシジ	合計
			カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カスミカメ	
南薩	28	平均捕獲虫数 ¹⁾	2.6	1.0	0	0.3	0	53.1	57.0
		捕獲箇所率(%) ²⁾	17.9	42.9	0	10.7	0	75.0	89.3
大隅	28	平均捕獲虫数	0.5	0.2	0	0.2	0	21.7	22.6
		捕獲箇所率(%)	17.9	14.3	0	10.7	0	100.0	100.0
県全体	56	平均捕獲虫数	1.6	0.6	0	0.2	0	37.4	39.8
		種別構成比(%) ³⁾	3.9	1.4	0	0.5	0	94.1	100.0
平均捕獲虫数		捕獲箇所率(%)	17.9	28.6	0	10.7	0	87.5	94.6
		平年 ⁴⁾	0.6	1.0	0	0.3	0	8.8	10.9
		2017年	0.4	1.9	0.3	0.9	0	9.5	13.0
		2016年	1.2	1.1	0	0.07	0	12.6	14.9
		2015年	0.4	1.0	0.02	0.1	0	7.6	9.1
		2014年	0.2	0.6	0	0.3	0.04	3.1	4.2
		2013年	1.0	0.6	0	0.3	0	11.4	13.2

※ 1) 平均捕獲虫数 = $\frac{\text{総捕獲虫数}}{\text{調査箇所数}}$ 2) 捕獲箇所率(%) = $\frac{\text{捕獲箇所数}}{\text{調査箇所数}} \times 100$ 3) 種別構成比(%) = $\frac{\text{捕獲虫数}}{\text{総捕獲虫数}} \times 100$

4) 平年は過去5か年(2013~2017)の平均値。